

幸手駅新駅舎の供用開始について

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、埼玉県幸手市のご支援をいただき、2015年8月より日光線幸手駅の自由通路整備および橋上駅舎整備工事を進めていましたが、2019年3月17日（日）始発列車から新駅舎の使用を開始します。また、使用開始を記念した「幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成記念きっぷ」の発売を2019年3月16日（土）より行います。

これは、「東武グループ中期経営計画 2017～2020」における質の高い輸送サービスのレベルアップに向けた快適性・利便性の向上の一環として推進するものです。東西自由通路および橋上駅舎の使用開始により、これまで改札口の無かった駅西口からのアクセス向上が図られるほか、東西の行き来が大変便利になり、多くのお客さまにご利用いただきやすい駅施設となります。

今回整備した自由通路および橋上駅舎は、歴史・文化を育み、豊かな自然・環境と調和するデザインとして進めて参りました。外観は、幸手を代表する景勝地である権現堂桜堤の桜をアクセントカラーに桜色のタイルを用いて桜吹雪をイメージしたデザインとしております。また、自由通路エレベーター部分の窓には「意匠照明整備」を行い、夜間LED照明により市の四季の花（桜、紫陽花、曼殊沙華、水仙）の色合を表現します。合わせて駅舎駅名サイン部に「壁面緑化整備」を行うなど幸手市の豊かな自然・環境との調和を意識した駅舎となります。内装は、宿場町の印象を取り入れ埼玉県産木材（秩父杉材）を利用した木質化を行い、歴史・文化を感じさせる家並みとして幸手宿の面影を表現しています。幸手宿は日光街道のみならず、将軍家による日光社参の道である日光御成街道との結節点でもあり、自由通路の床面タイルには、日光街道や御成道の日本橋から日光までの29の宿場名を表示しております。



△幸手駅東口 新駅舎（外観）



△幸手駅 東西自由通路（内観）



△幸手駅東口状況（H31.2.7撮影）



△幸手駅西口状況（H31.2.6撮影）



△幸手駅 旧駅舎

東武日光線 幸手駅 橋上駅舎の概要について

- 1 使用開始日時 平成31年3月17日（日）始発から
※東西自由通路は3月16日（土）完成記念式典終了後から
- 2 所在地 埼玉県幸手市中1-1-23
- 3 延べ床面積 約845㎡
※東西自由通路含む延べ床面積 約1891㎡
- 4 構造規模他 鉄骨造 2階建て
（駅事務室、旅客用（男・女・多機能）トイレ他）
- 5 設計会社 東日本総合計画株式会社
- 6 施工会社 河本工業株式会社
- 7 駅開業日 昭和4（1929）年4月1日

記念きっぷの発売について

- 1 名称 幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成記念きっぷ
- 2 発売期間 平成31年3月16日（土）～平成31年4月15日（月）
※売り切れ次第終了
- 3 発売箇所 幸手駅
- 4 発売枚数 500枚
- 5 発売額 150円
- 6 発売内容 幸手駅から150円区間の片道乗車券
- 7 有効期間 平成31年3月16日（土）～平成31年5月14日（火）
- 8 仕様 サイズ…縦57mm、横179mm
乗車券部分を切り離し可能なマット紙（OPP袋入り）
自動改札機はご利用できません



△記念きっぷ イメージ

以上